

平成 30 年度事業報告書 南東京エリア（西大井）

1 平成 30 年度総括（成果、反省等を簡単に）

- 1) 西大井では人財育成に取り組み、施設サービスの質を向上していくことを目指している。
介護サービスが向上することで、品川区内では「こうほうえん」の介護の質は周知され、介護サービスの質が情報発信され当施設への入居希望と入居待機者の増加へと繋がっている。
また、平成30年度から、施設独自の口腔ケア技術レベル認定制度を創設し、介護士がレベル認定試験を受け、合格することで「ブロンズ・クラス」「シルバー・クラス」「ゴールド・クラス」「プラチナ・クラス」「ダイヤモンド・クラス」へと上位へのステップアップを図ることで介護士の仕事への意識向上を目指している。
- 2) 虐待予防においては、施設長監修による「介護職員のための虐待予防チェックノート」による、虐待の芽になる不適切な行動を自ら見つめ直すため、介護現場の職員の行動を振り返るために「虐待予防チェックノート」を毎日、読合せを行い虐待の芽となる行動の気づきを養っていく。
- 3) 年間を通じ各職員が各種研修に参加し、施設側も研修に参加しやすい状況をつくり出すための体制を行っている。内部研修として月1回愛知同朋大学の社会福祉の教授を独自で招いて研修を行っている。

2 トピックス（新規事業、重点実施事業等）（独自で実施している地域貢献活動含む）

- 1) 30年度当初から、感染症に対する対策を考えてきた。ケアホームでは次亜塩素酸による感染症対策が効果的であると考え、次亜塩素酸による空気洗浄を導入した。その結果、今冬においてはインフルエンザの発症はケアホーム入居者からの発症は0件であった。
- 2) 静岡県立大学情報学部との協働研究による、「AI」を使用した認知症ケア（認知症の方の心の状態を表情や音声などで心の内を読み取る）を分析する研究を行っており、29年度から継続中で今後も引き続き長期的にデータを収集し、認知症の方と介護士との対話の内容をデータ化していく。

3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

- 1) 実習生受入れ
各大学の看護学部の看護師、理学療法士、社会福祉士の相談員の実習、および福祉専門学校の介護士の実習生、保育士の大学・短期大学・保育・幼稚園教諭の専門学校の受入れを積極的に実施し、看護師・介護士・保育士の育成と当法人への入職に一役を担っている。
- 2) 介護サービスの向上
ユマニチュード[®]の研修を継続的に実施、また、実務においてもユマニチュード方式の介護を継続的に実施している。
- 3) 5S運動の継続
1整理、2整頓、3清掃、4清潔、5躰の「5エス」運動を実施、職員一人ひとりが5エスを理解し自ら行動できるように継続している、来年度も引き続き行っていく。
- 4) 情報発信
西大井広報誌（西大井スタイル）に充実した記事を掲載、またホームページを最新情報を常時にアップしている。

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第1位）

事業所名	定員（人）	平成 30 年度（％）	平成 29 年度（％）	平成 28 年度（％）
ケアホーム西大井	48	98.2%	96.5%	95.0%

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	<ul style="list-style-type: none"> ①ヘルスケアタウンにしおおい夏祭り（2018. 7. 14） ②避暑シェルターの設置（2018. 6. 25～9. 28） （地域の方々や通行するの方々に対し、真夏の暑い時期に冷たい飲み物と涼しい場所を提供し熱中症を防ぐ） ③品川区合同防災訓練にミニポンプ隊として参加（2018. 9. 14） ④全国横断福祉たすきマラソン（RUN伴＝ラントモ）に参加予定であったが、雨天により大会が中止となった。（2018. 9. 30 の予定） ⑤大井権現まつりに女神輿が参加（2018. 10. 21） ⑥雨天のため体育館で秋の運動会（2018. 10. 6） ⑦いきいきセンターで秋まつりを開催約 8 1 9 人の来場者。また、祭りのためにケアホーム入居者がフラワーアレンジメントを作成し出展した。（2018. 10. 18～10. 20） ⑧春の演芸大会参加者 6 5 4 名が参加 ⑨ケアホームでは折々の季節にあわせ、昼食に行事食を実施（毎月） ⑩ケアホームとキッズタウンとの交流会 （お誕生会、クリスマスパーティー、ハロウィンパーティー、等） ⑪餅つき大会（もち小麦を使用） ⑫バレンタインのチョコレート作り、クレープづくり ⑬ケーキづくり、桜もちづくり、フルーツポンチづくり ⑭節分豆まき大会 ⑮お好み焼きづくり ⑯各入居者の誕生日に昼食時に「Happyバースデー」のお祝いを行う。 ⑰毎月防災訓練を実施（訓練の振り返りを行い、非常時に対応可能とする） ⑱新たに入居される方、病院に入院していた方が退院され帰苑された際にウェルカムの花を部屋に飾り、迎え入れている。 ⑲ひまわりカフェ（月 1 回実施）入居者および入居者の家族、知人などが参加されている認知症カフェの西大井版を月 1 回行う。 ⑳餃子づくり
エリア内研修状況	<ul style="list-style-type: none"> ①身体拘束、排泄ケア研修 ②インフルエンザ・感染症研修 ③ミキサー固形食について作り方の研修、ソフト食研修 ④ユマニチュード研修

	<ul style="list-style-type: none"> ⑤リスクマネジメント研修 ⑥ノロウイルス嘔吐に対する処理方法の研修 ⑦労働災害対応研修（労基署開催研修に参加） ⑧看取りケア研修（専門学校開催による研修に参加） ⑨新人職員研修 ⑩救急救命研修を受講 ⑪施設内防災設備操作研修（自主研修） ⑫消防署主催の防災訓練指導研修 ⑬口腔ケア研修（歯科衛生士による）
エリア内会議、委員会活動	<ul style="list-style-type: none"> ①南東京エリア調整会議（西大井、新砂）を月1回会場を相互で開催 ②苦情解決第三者委員会 ③ふれあいの橋の会 ④品川区避難所施設連絡会議（約3ヵ月に1回開催） ⑤広報委員会（キッズとケアホームと協働して広報誌を作成：月1回） ⑥行事委員会（キッズとケアホームと協働でイベントの実行と開催） ⑦夏まつり実行委員会（キッズとケアホームと協働で開催） ⑧全体会議（ケアホーム全体に係る事に協議） ⑨ケアホーム事務所会議（ケアホームの運営について） ⑩給食会議（委託業者、管理栄養士、施設との食事の振り返り） ⑪東京地区研修委員会会議（東京事業本部で開催） ⑫労働安全衛生委員会（錦海リハビリテーション病院長の角田先生 の施設訪問に合わせ委員会を実施 ⑬排泄、褥瘡委員会 ⑭ISO委員会 ⑮リスクマネジメント委員会 ⑯口腔ケア推進委員会 ⑰エマニチュート推進委員会
委員会活動等の 成果・実績・反省	いずれの委員会も定期的で開催

6 人財状況

外部研修等講師 派遣実績	<ul style="list-style-type: none"> ①社会福祉法人 さくら会（品川区） 身体拘束、虐待防止の研修講師（田中ともえ施設長）
外部役職就任状況	<ul style="list-style-type: none"> ①NPOシルバー総合研究所 理事（田中とも江施設長） ②千葉県 身体拘束・排泄ケア現地指導員 （拘束廃止研究所へ委嘱）（田中とも江施設長） ③静岡県立大学 認知症アシストフォーラム（田中とも江施設長） ④東京工科大学看護学部客員教授（田中とも江施設長） ⑤福島県虐待防止ネットワーク連携会議委員（田中とも江施設長）

	⑥ジネスト・マレスコッティ研究所日本支部 名誉会長（田中とも江施設長） ⑦品川区大井地区避難所施設協議会委員（事務長）
--	---

7 地域貢献実績（保育所含む）

実習受入れ実績 延人数 1,081人	(ケアホーム) 東京工科大学、東京医科大学、東洋大学、日本福祉教育専門学校、帝京科学大学、 (キッズタウン) 淑徳大学、聖徳大学、
ボランティア受入れ実績 延人数 1,321人	傾聴、話相手、清掃活動、楽器演奏、歌、コーラス、落語、ハンドマッサージ 紙芝居、フラワーアレンジメント、
見学受け入れ実績 実人数 29人	入居希望者、タイ国より福祉の状況、旧校舎の利用状況(リノベーション内容) 品川介護福祉学校(介護施設)、品川区内の社会福祉法人など
地域交流活動実績 1 実施回数 3回 延人数 1,833人	(事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業) ①ヘルスケアタウンにしおおいの夏まつり(参加者:360人) ②いきいきセンター秋まつり(来場者:819人) ③春の演芸大会 いきいきセンター(来場者:654人)
地域交流活動実績 2 実施回数 2回 延人数 18人	(地域の交流事業に利用者と共に参加したもの) ①品川区合同防災訓練(ミニポンプ隊として参加:8人) ②地域の鹿島神社大祭(おんな神輿として参加:)10人
ボランティア・環境活動 参加実績 1 投入人数 1人	(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) ①品川区内一斉防災訓練(避難所訓練 法人投入人員1名)
ボランティア・環境活動 参加実績 2	(見守り活動・学校活動の手伝い等) 活動なし
地域発信活動実績(認知 症サポーター養成講座)	①地域の福祉施設連絡会(けめともの家) 近隣(西大井地区)の介護施設の代表者が集まり連絡会を開く。 西大井より1名出席